

Ciné-là  
Ciné-là  
Ciné-làNEWS  
VOL.335Fukuoka City  
Public Library  
Movie Hall  
Ciné-là

2-3

February-March, 2026

[通年上映]

午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス  
アーカイブ発見

[企画上映]

アンソロジー・フィルムアーカイブス  
—アメリカ実験映画の地平へ

## アジアの女性映画監督再考

第8期:マレーシア/モンゴル/タイ/東ティモール/ウズベキスタン/シンガポール  
キムズビデオ

ロバート・ダウニー監督作品「グリーサーズ・パレス」(1972)

[料金] &lt;アジアの女性映画監督再考 第8期&gt;&lt;アーカイブ発見&gt;&lt;午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス&gt;

大人=500円/大学生・高校生=400円/中学生・小学生=300円

福岡市在住の65歳以上の方・わたくしクラブ会員=250円(要証明書・会員証原本提示)/障がいの方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

&lt;アンソロジー・フィルムアーカイブス&gt; 大人=600円/大学生・高校生=500円/中学生・小学生=400円

福岡市在住の65歳以上の方・「わたくしクラブ」会員/障がいの方および介護者の方1名=300円(要証明書・会員証原本提示)

&lt;キムズビデオ&gt; 一般=1,400円/学生(大学生・高校生・中学生・小学生)および各種割引=700円

※以下の方が割引となります(要証明書・会員証原本提示)。①福岡市在住の65歳以上の方/②「わたくしクラブ」会員/③障がいの方および介護者の方1名

□ 定員(242席+車椅子席4席)・各回入替制/当日券のみ・各回上映の1時間前から販売(上映開始の30分後まで)

fiaf

[国際フィルムアーカイブ連盟]  
FIAFは映画の保存を目的とする国際団体です。  
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

# アンソロジー・フィルムアーカイブス

## —アメリカ実験映画の地平へ

主催:福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会、国立映画アーカイブ、アンソロジー・フィルムアーカイブス

アンソロジー・フィルムアーカイブスは映像作家たちが中心となって設立されたインディペンデントな組織として、“周縁の豊かさこそ文化を

活気づける”という強い信念のもと、映画史において見落とされがちな個人映画や実験的な映像作品を軸に保存・研究・上映を行う、

世界的に見ても非常にユニークなフィルムアーカイブです。映画の形式や概念を批評的に問い合わせ直す先鋭的なプログラムを中心に上映します。

2月5日[木]～2月22日[日] ※休館日・休映日除く

◎特に表記のないもの製作国=アメリカ合衆国。特に表記のないものDCP上映 ◎上映分数は当日のものと多少異なることがあります ◎不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります

Anthology Film Archives:  
Surveying American Experimental Cinema



ANTHOLOGY  
FILM  
ARCHIVES

### ロン・ライス作品集(1)(3作品/65分)

#### 花泥棒 The Flower Thief

1960/白黒/59分  
監督:ロン・ライス 出演:ティラー・ミード

#### ティラー・ミードの演技クラス

Taylor Mead's Acting Class  
1960/白黒/3分

#### チャーレズ・シアターでのロン・ライス

Ron Rice at the Charles Theater  
1962/白黒/3分/サイレント※無音での上映

その独創性によって1960年代アンダーグラウンド映画における最重要人物の一人と目されながら、29歳の若さで夭折したロン・ライス(1935-1964)。代表作の『花泥棒』は、アメリカの風景と即興演技を活かした撮影によって、ビート・ジェネレーションの感性が最も純粋な形で表現されている。

2/6 [金] 14:00 11 [水祝] 11:00

2/6 14:00 ※上映前解説:  
池元慎(国立映画アーカイブ研究補佐員)



花泥棒

### シンバイオサイコタクシープラズム: テイク・ワン

SYMBIOPSYCHOTAXIPLASM: TAKE ONE

2/8 [日] 11:00 18 [水] 14:00

哲学者アーサー・F・ベントリーが環境と人間の関係について提唱した概念『シンバイオサイコタクシープラズム』にもとづき、即興的に撮影される映画の制作風景を、分割画面を駆使しながら多層的に描き出している。ノンフィクション映画制作に内在する倫理的な問いや権力関係を前景化し、それに特異な方法で対処する。

1968/カラー/75分 監督・製作・編集・出演: ウィリアム・グリーヴス

### トム、トム、笛吹きの息子

Tom, Tom, the Piper's Son

2/8 [日] 14:00 20 [金] 14:00

群衆による祝祭のカオスを描き出した最初期の喜劇映画『トム、トム、笛吹きの息子』(1905)を再撮影の素材として、ズームやパン、高速・低速再生といった様々な視覚的効果によって作品本来の意味を解体し、映像の多義的な細部や物質性へと視線をいざなう「構造映画」の代表作。

1969/白黒/122分/サイレント※無音での上映  
監督:ケン・ジェイコブス

### 抽象アニメーション作品集(4作品・26分)

#### オプチカル・ポエム An Optical Poem

1938/カラー/7分 監督:オスカー・フィッシャー

#### ポルカ・グラフ Polka Graph

1947/カラー/5分 監督:メリ・エレン・ビュート

#### 呼吸 Breathing

1963/カラー/5分 監督:ロバート・ブリア

#### デュオ・コンセルタンテ Duo Concertante

Duo Concertante  
1962-1964/白黒/9分 監督:ラリー・ジョーダン

ビート・ジェネレーションの影響下、瞑想的で、新技術への関心、脱物語、知的活動や芸術活動の延長線にある抽象アニメーション群。フィルムへのダイレクトペイント、切り紙やコラージュ、アナログコンピュータなどの技法で制作された。

※上映後、本プログラムをキュレーションした山村浩二氏(東京藝術大学教授、アニメーション作家)によるビデオ講演(50分予定)があります。

2/15 [日] 11:00 21 [土] 14:00



### ボーン・イン・フレイムズ Born in Flames

2/7 [土] 14:00 12 [木] 14:00

社会民主主義によって起こされた解放革命から10年後の近未来ニューヨークを舞台にしたSF作品。ジェンダー、人種、階級を越えた女性たちが連帯し、革命後もなお残る抑圧に対峙する姿をドキュメンタリーの手法で描く。

1983/カラー/85分 監督・共同脚本・製作・編集:リジー・ボーデン  
出演:ハニー、アデル、ペルティほか

### 時を数えて、砂漠に立つ

He Stands in a Desert Counting the Seconds of His Life  
2/5木 14:00 ※上映前解説:佐々木淳(国立映画アーカイブ客員研究員)



©1986 Estate of Jonas Mekas, courtesy of The Film-Makers' Cooperative/New American Cinema Group, Inc.

2/5 [木] 14:00 15 [日] 14:00

メカスは初長編『ウォールデン』(1968)で「日記映画」という独自の手法を確立した。本作はその続篇ともいべき作品で、アンソロジー一般設立時期の1969年から1984年にニューヨークで交流した友人たちとの124の映像スケッチをまとめている。また当時の芸術運動「フルクサス」の生々しい記録としても貴重。

1985/カラー/150分/16ミリフィルム上映  
監督:ジョナス・メカス 出演:ジョージ・マチュナス、ジョン・レノン、オノ・ヨーコほか

### ストム・ソゴー作品集(6作品・計79分・すべて監督:ストム・ソゴー)

2/13 [金] 14:00 22 [日] 11:00

#### ペリオディカル・エフェクト Periodical Effect

2001/カラー/10分

#### シルバー・プレイ Silver Play

2002/カラー/16分

#### ゆるやかな死 Slow Death

2000/白黒・カラー/16分

#### 追伸 死んでしまうと思つた瞬間

Ps When You Thought You are Going to Die

2003/カラー/18分

#### TRI

2004/カラー/9分

#### リピート Repeat

2006/カラー/10分



企画上映

### キムズビデオ

磁気テープの「2025年問題」が過ぎてしまった今、マグネットテック・テープ・アラートをめぐって、“常軌を逸したドキュメンタリー”を上映します。

2/7 [土] 17:00 14 [土] 17:00 21 [土] 17:00

### キムズビデオ KIM'S VIDEO

ニューヨークの映画ファンたちが通い詰めたレンタルビデオショップ「キムズビデオ」。閉店になった2008年、経営者のキム・ヨンマンは、膨大なコレクションをイタリア・シチリア島にあるサレミ市に、展示を条件に譲渡した。しかし数年後に現地を訪れるると、ホコリだらけの湿った倉庫で息を潜める映画たちを発見する。



© Carnivalesque Films 2023

2023/アメリカ/カラー/88分/DCP上映/日本語字幕付き/配給:ラビットハウス、ミュート  
監督:アシュレイ・セイビン、デイヴィッド・レッドモン

# アジアの女性映画監督再考

## 第8期:モンゴル/マレーシア/タイ/東ティモール/ウズベキスタン/シンガポール

収蔵作品を中心にアジア各国の女性監督による作品を特集上映します。 2月22日[日]~ 3月8日[日] ※休館日・休映日除く

◎すべて福岡市総合図書館収蔵作品

### 枷(かせ) Shackles

2/22 [日] 14:00 2/27 [金] 11:00



トグルドゥルは父の死後、ホームレスの少年たちの仲間に入っている。大人たちの泥棒の手下になり、手に入れた金で父の墓を作りたいと思っている。暗闇と光が配置された硬質な撮影と、生き生きとした少年たちへの演出が傑出している秀作。主人公のゴンボオチルは高く評価され、1992年モンゴル児童機関金メダルを獲得した。

1991/モンゴル/白黒/75分/35ミリフィルム上映/日本語・英語字幕付き  
監督:ナンサリーン・オランチメグ 出演:S.ゴンボオチル

### ラスト・マレー・ウーマン The Last Malay Woman

2/23 [月祝] 14:00 3/6 [金] 14:00



劇作家のハイカルはマレー人にとっての演劇について悩んでいた。東海岸のリゾートにやってきたハイカルは、ロンドン留学経験を持つ女性ムスティカと出会う。ムスティカの婚約者は急進的なイスラム教徒だった。近代化の波と、様々な人種や宗教が入り混じるマレーシアにおけるアイデンティティーについて考察した作品。

1997/マレーシア/117分/35ミリフィルム上映/日本語・英語字幕付き  
監督:エルマ・ファティマ 出演:エイズラン・ユソフ、ファニダ・イミラン

### ここに陽はのぼる～東ティモール独立への道 Where the Sun Rises

2/26 [木] 14:00 2/28 [土] 11:00



2002年にインドネシアから独立した東ティモールの、独立に至る過程を描いたドキュメンタリー映画。映画のガイド役を務めるのは、東ティモール初代大統領のシャナナ・グスマン。映画はグスマン大統領の祖国に捧げる詩から始まる。戦闘の傷跡が残る街や、インドネシア軍による虐殺の後遺症に苦しむ人々などが描かれる。

2006/東ティモール=シンガポール/カラー/78分/デジタル上映/日本語・英語字幕付き  
監督:グレース・パン

### スター誕生 Already Famous

2/28 [土] 14:00 3/8 [日] 14:00



マレーシアの田舎町に暮らすキャオはスターを夢見る。シンガポールでオーディションを受けるが、あっさり落選。やむなく化粧品販売をしながらチャンスを待つ。そしてコーヒーショップの店員クリストファーと懇意に。監督・主演のミシェル・チョンはシンガポールの人気スター。コミカルで心温まる。

2011/シンガポール/113分/デジタル上映/日本語・英語字幕付き  
監督:ミシェル・チョン 出演:ミシェル・チョン、エイリアン・ホアン

### ジミ・アスマラ Jimi Asmara

2/23 [月祝] 11:00 3/5 [木] 14:00



1950年代から60年代、独立当時のマレーシアのイポー市を舞台に、人気歌手ジミ・アスマラの生涯を描いた作品。まだ植民地の雰囲気が残るマレーシアでジミ・アスマラと彼に恋するウンク・イクラニの許されざる恋が、繊細なタッチで描かれる。当時の歌がふんだんに聴けることも本作の魅力。

1994/マレーシア/カラー/105分/35ミリフィルム上映/日本語・英語字幕付き  
監督:エルマ・ファティマ 出演:ハニ・モフセン、ラジャ・アズラ

### ワン・ナイト・ハズバンド One Night Husband

2/26 [木] 11:00 3/7 [土] 14:00



シパンはナバットと結婚するが、結婚式の夜、不審な女性からの電話の後ナバットは姿を消してしまう。ナバットの行方を探すうち、シパンは彼女の知らないナバットの一面を知っていく。二人の女性と一人の男性の愛憎渦巻く作品で、心理描写に重点をおいた本作はタイ映画のニューウェーブとして評価された。

2003/タイ/カラー/118分/35ミリフィルム上映/日本語・英語字幕付き  
監督:ビムバカー・トーウィラ 出演:ニコル・テリオ、シリヤゴーン・ブッカウェート

### 天空の路 The Road Under the Heavens

2/27 [金] 14:00 3/8 [日] 11:00



美しい女性ムハバットは、若い男と恋に落ち、妊娠する。それを知った男は軍隊に入ってしまう。非難する家族からムハバットは家から逃げ出し、倒れていたところをアジアに助けられる。多くの民族音楽やダンスが盛り込まれ、象徴的な語り口で描かれる。ウズベキスタンの文化をモザイクのように織り込んだ作品。

2006/ウズベキスタン/カラー/75分/35ミリフィルム上映/日本語・英語字幕付き  
監督:カマラ・カマロワ 出演:アジア・ラメトフ、ザリナ・ニザメトディノフ

【通年上映】

### 午前11時の日本映画・アジア映画 Classics

収蔵作品から、日本とアジアの選りすぐりの古典映画や名作を木曜・金曜・土曜に連続して上映します(不定期)。

2/12 [木] 11:00 13 [金] 11:00 14 [土] 11:00

### 殺陣師段平



大正時代。澤田正二郎が起こした新国劇は、旧来の歌舞伎のような殺陣を嫌い、リアルな殺陣を創造しようとする。一座の殺陣師である段平はなかなか澤田の殺陣を理解できなかったが、妻のお春に支えられ新しい殺陣を創造する。不器用な段平を月形龍之介が熱演、マキノ監督が人情豊かに描いた芸道版の「王将」。

1950/日本(東横映画)/白黒/104分/35ミリフィルム上映  
監督:マキノ弘雅 出演:市川右太衛門、月形龍之介

2/19 [木] 11:00 20 [金] 11:00 21 [土] 11:00

### 無人の野 Wild Field

ベトナム戦争中、無人地帯とされていたメコンデルタを舞台に、解放軍の連絡員として住んでいた夫婦と幼子の生活を描き出す。身を隠しながら情報収集をしていた彼らを、米軍が執拗に追跡する。モスクワ映画祭で金賞となり、ベトナム映画史上、初めて国際映画祭で最高賞を獲得した作品となつた。

1979/ベトナム/白黒/94分/35ミリフィルム上映  
日本語・英語字幕付き  
監督:ホン・セン 出演:グエン・トゥイ・アン、ラム・トイ

3/5 [木] 11:00 6 [金] 11:00 7 [土] 11:00

### 夫婦善哉

昭和7年大阪。芸者の蝶子は妻子ある化粧問屋の若旦那・柳吉と駆け落ちする。柳吉は勤怠され、二人は生活に困ってしまうが、柳吉のために蝶子は尽くす。柳吉はいつか勤怠がとれると力をつくしていままで同様に遊びまわる。主役の森繁久彌と淡島千景の息の合ったコンビが素晴らしい、芸芸映画の名手・豊田四郎の代表作。



1955/日本(東宝)/白黒/120分/35ミリフィルム上映  
監督:豊田四郎 出演:森繁久彌、淡島千景

2-3

Feb.-Mar., 2026

## 上映スケジュール

2/1 [日]	[自主上映] 福岡映画サークル協議会(シネラニュース1月号に掲載)	
2 [月]	休館日	
3 [火]	休館日	
4 [水]	休映日	
5 [木]	11:00 ○リグルーピング	14:00 ○時を数えて、砂漠に立つ 上映前解説:佐々木淳(国立映画アーカイブ客員研究員)
6 [金]	11:00 ○グリーサーズ・パレス 上映前解説:佐々木淳	14:00 ○ロン・ライス作品集(1) 上映前解説:池元慎(国立映画アーカイブ研究補佐員)
7 [土]	11:00 ○詩篇23枝篇 上映前解説:池元慎	14:00 ○ボーン・イン・フレームズ ◆キムズビデオ
8 [日]	11:00 ○シンバイオサイコタクシ プラズム:ティク・ワン	14:00 ○トム、トム、笛吹きの息子
9 [月]	休館日	
10 [火]	休映日	
11 [水祝]	11:00 ○ロン・ライス作品集(1)	14:00 ○リグルーピング
12 [木]	11:00 ☆殺陣師段平	14:00 ○ボーン・イン・フレームズ
13 [金]	11:00 ☆殺陣師段平	14:00 ○ストム・ソゴー作品集
14 [土]	11:00 ☆殺陣師段平	14:00 ○グリーサーズ・パレス ◆キムズビデオ
15 [日]	11:00 ○抽象アニメーション 作品集 +山村浩二ビデオ講演	14:00 ○時を数えて、砂漠に立つ
16 [月]	休館日	
17 [火]	休映日	
18 [水]		14:00 ○シンバイオサイコタクシプラズム:ティク・ワン
19 [木]	11:00 ☆無人の野	14:00 ○詩篇23枝篇
20 [金]	11:00 ☆無人の野	14:00 ○トム、トム、笛吹きの息子
21 [土]	11:00 ☆無人の野	14:00 ○抽象アニメーション 作品集 +山村浩二ビデオ講演 ◆キムズビデオ
22 [日]	11:00 ○ストム・ソゴー作品集	14:00 ●枷(かせ)
23 [月祝]	11:00 ●ジミ・アスマラ	14:00 ●ラスト・マレー・ウーマン
24 [火]	休館日	
25 [水]	休映日	
26 [木]	11:00 ●ワン・ナイト・ハズバンド	14:00 ●ここに陽はのぼる~東ティモール独立への道
27 [金]	11:00 ●枷(かせ)	14:00 ●天空の路
28 [土]	11:00 ●ここに陽はのぼる ~東ティモール独立への道	14:00 ●スター誕生 17:00 ★歓待
3/1 [日]	[自主上映] 福岡発! ドキュメンタリー映画上映会	
2 [月]	休館日	
3 [火]	休館日	
4 [水]	休映日	
5 [木]	11:00 ☆夫婦善哉	14:00 ●ジミ・アスマラ
6 [金]	11:00 ☆夫婦善哉	14:00 ●ラスト・マレー・ウーマン
7 [土]	11:00 ☆夫婦善哉	14:00 ●ワン・ナイト・ハズバンド 17:00 ★歓待
8 [日]	11:00 ●天空の路	14:00 ●スター誕生

○=[企画上映] アンソロジー・フィルムアーカイブス——アメリカ実験映画の地平へ

●=[企画上映] アジアの女性映画監督再考 第8期

◆=[企画上映] キムズビデオ

★=[通年上映] アーカイブ発見

☆=[通年上映] 午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

・3月9日[月]～3月17日[火] 図書整理期間のため休館

・3月18日[水]～3月31日[火] 休映

・3月29日[日] [自主上映] 福岡映画サークル協議会(シネラニュース4月号に情報掲載)

[自主上映のお知らせ]

## 福岡発! ドキュメンタリー映画上映会

上映作品:『九州大学 彦山生物学実験施設』

(2025 /日本/ 116分/監督:児玉公広)

日時:3月1日[日] ①11:00 ②14:00

料金:一般1,200円/学生・障がい者700円

主催:球フィルムス 後援:株式会社イワプロ

お問い合わせ(電話番号):090-1515-3227

## Column

2024年から継続してきた「アジアの女性映画監督再考」は今年度末の第8期をもって収蔵している作品をおおよそ一巡します(今後の上映企画のため「女性映画監督再考」では取り上げなかった作品・作家もあります)。

アジアには本当にたくさんの女性映画作家が活躍してきたことが確認できました。日本ではあまり紹介されることの少ない監督たちもたくさんいますので、企画ごとに、監督たちのプロフィールを少しづつアップデートして、シネラのホームページ内で公開しています。

([http://cinela.com/gaiyou\\_kantoku\\_202408.html](http://cinela.com/gaiyou_kantoku_202408.html))

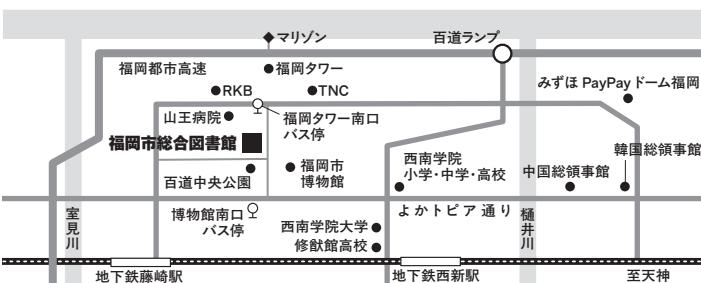
これは、福岡市総合図書館にアーカイブしているアジア映画の一侧面を記録する貴重な資料になりました。プロフィールを読むだけでも、国・地域・年代によってさまざまな境遇であったことを知ることができます。苦境のなかで映画を監督することに辿り着いた方も珍しくありません。

当館に収蔵している作品に限ってですが、隣国である韓国の女性監督作品が比較的少ないのが意外でした。もちろん韓国には優れた女性監督はたくさんいます。11月には「成績表のキム・ミンヨン」の監督のイ・ジェウンさん、イム・ジソンさん、「ウォンジュ・アカデミー劇場の記録」の監督のおひとりであるイ・ミヒョンさんにはシネラにお越しいただき、新世代の風を感じさせてくれました。

2024年にシネラで上映した映画「オマージュ」(本作監督のシン・スウォンさんも女性です)は、主人公は中年の女性映画監督(演じるのは、「バラサイト半地下の家族」を見たら忘れない家政婦役のイ・ジョンウンさん)。1962年のホン・ウノン監督作「女判事」の、失われたフィルムを探していく。母であり、妻であり、壮年期を迎えたひとりの女性監督が、ある女性監督の在りし日の姿を追う「オマージュ」は静かな秀作です。現在配信などで比較的簡単に見ることができます。

余談ですが、「オマージュ」に登場する映画資料の展示スペースで、先日シネラで修復版を上映した映画「未亡人」(1955 /監督:パク・ナムオク)の撮影時に、幼い娘を背負って現場に通っていたパク監督の姿を写した写真がちらりと紹介されます。パク監督は「未亡人」のあと、映画を監督をすることはありませんでした。

(学芸員・杉原)



## [交通アクセス]

当館の駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。市営地下鉄/西新駅または藤崎駅下車徒歩15分 西鉄バス・博多駅、天神、西新から福岡タワー南口または博物館南口下車徒歩5分、藤崎駅から福岡タワー南口下車徒歩5分 ○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時刻、お近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話:050-3616-2150)へお問い合わせください。

## 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

(代表) TEL: 092-852-0600 | FAX: 092-852-0609

うえぶシネラ=<http://www.cinela.com> ⇒

発行:映像ホール・シネラ実行委員会

グリーン購入法に適合している用紙を使用しています

助成:  西日本シティ財団